

1千万人交流の出雲観光戦略

「出雲阿國座」の創設をめぐる財政・経済問題 市民説明会の状況をお知らせします

出雲阿國座についてのおたずね
芸術文化振興課
(☎21-6514)

出雲阿國座の創設をめぐる財政、経済問題の市民説明会については、3月20日の大社地区を皮切りに、5月13日まで市内全域12会場において開催し、のべ1,500人の参加をいただきました。各会場では、同じようなご意見、ご質問を多数いただきました。その主な意見として、

- 市の財政が心配だが、今なぜ阿國座を建設しないといけないのか。
 - 今なぜ観光産業が必要か。
 - 事業費が30億円から42億円になったことや収支が赤字から黒字になったことで信用できない。
 - 阿國座に使う財源は福祉・医療に使うべきである。
 - 住民投票などを実施し、市民に賛否を問うたらどうか。
 - 阿國座の建設を選挙後まで凍結または延期すべきである。
- といった反対の意見などがありました。

一方で、
●地域づくりに文化や観光は大切で、地域経済の効果が期待できる。
●阿國座は出雲阿國の生誕地にふさわしいものであり、全国にアピールすれば多くの観光客に来てもらえる。
など賛同される意見もありました。
予定した全市民を対象とした阿國座の説明会は終えましたが、市民説明会でいただいたご意見を踏まえながら、今後、理解が得られるよう十分検討努力します。



3月20日 大社文化プレイス会場



4月7日 湖陵コミュニティセンター会場

市民説明会の開催状況

| 開催月日 | 会場 | 参加人数 | 開催月日 | 会場 | 参加人数 |
|-------|--------------|------|-------|--------------|------|
| 3月20日 | 大社文化プレイス | 520 | 4月24日 | 塩冶コミュニティセンター | 90 |
| 3月31日 | 須佐温泉ゆかり館 | 70 | 4月28日 | 河南中学校体育館 | 40 |
| 4月7日 | 湖陵コミュニティセンター | 100 | 5月7日 | 出雲科学館 | 110 |
| 4月10日 | 多伎コミュニティセンター | 120 | 5月8日 | 浜山中学校体育館 | 90 |
| 4月17日 | 平田学習館 | 120 | 5月12日 | 出雲ドーム健康センター | 70 |
| 4月18日 | 南部ふるさとセンター | 90 | 5月13日 | 東コミュニティセンター | 80 |

主なご意見・ご質問の内容とそれに対する

Q 住民投票などを実施し、市民に賛否を問うたらどうか

A 出雲市の福祉、医療は他市に負けないほど財政負担していますが、それ以上に市民の皆さまのご要望に応えるには、さらに財源を確保していかなければなりません。この度の説明会で、財政のしくみ、財源の確保など説明の努力をしましたが、この問題はさらに総務省などとのやりとりを含め、行政実務的な論議になります。賛成、反対の住民投票などにはなじまないものだと考えています。

Q 阿國座の建設については、選挙後まで凍結または延期をすべきである

A 不況による経済を救うためにも、少しでも早く経済効果を出していく必要があります。また、出雲大社の60年ぶりの遷宮や、昨年3月の古代出雲歴史博物館のオープン、松江と出雲が舞台となったNHK連続テレビ小説「だんだん」の9月からの全国放映、石見銀山の世界遺産登録効果など、観光産業による大きな経済効果が期待できる今のタイミングを失することなく、取り組むべきだと考えています。

Q 事業費が30億円から42億円になったことや、収支が赤字から黒字になったことで信用できない

A 当初は一般的な文化ホールを参考にして、概算事業費を30億円程度と見込んでいましたが、策定委員会で検討された結果、全国からの観光客が集うオンリーワンの劇場ということで、廻り舞台、花道などの舞台機構が充実し、来場者が江戸時代の劇場の雰囲気を楽しむことができるような劇場ということで試算したところ、総事業費が42億円となりました。収支については、中途段階での試算では2,300万円程度の市の財政負担を必要としていましたが、こんぴら歌舞伎など同じような施設を参考に、十分に精査した結果、若干の収益が上がる試算としたものです。
なお、運営に当たっては、維持費を抑えるように建物構造の効率化を図り、こんぴら歌舞伎のようにボランティアの協力を含め人件費もできるだけ抑えて試算しています。公演活動の事業費も、先進事例を調査し、観客のニーズも把握しながら試算したものです。

Q 阿國座に使う財源は福祉・医療に使うべきである

A 阿國座に使うこの財源として合併特例債やまちづくり交付金を充てています。合併特例債やまちづくり交付金は、ハード整備に活用する財源であり、仮に阿國座を建設しなかったとしても、その財源を福祉や医療に回せるものではありません。また、合併特例債は、7割程度を国が負担するもので、残りの3割を20年に分割して返済していくことになっています。

市の回答を紹介します。

Q 市の財政が心配だが、今なぜ阿國座を建設しないといけないのか

A 市では、新庁舎の建設、阿國座の創設なども盛り込み、今後の財政状況を見通しながら、将来にわたって持続可能な財政運営を行うため、中期財政計画を策定し、厳しい状況の中でも安定・安全の財政運営をしています。ご要望の高い福祉や医療などの財源確保のため、市の財源を一層豊かにしていくことが必要となりますが、阿國座による直接効果だけではなく、周辺への経済波及効果も期待して阿國座を建設するものです。今、生活に一層明かりを点すプロジェクトが必要であり、阿國座を起爆剤に観光経済を発展させることにより、福祉などの充実を図るための自主財源の確保に努めてまいります。

Q 今なぜ観光産業が必要か

A 出雲市と松江市の観光の入込み客数はほぼ同じですが、宿泊者数は松江市の約190万人に対し、出雲市は約46万人と低い水準にあり、通過客が多いことがわかります。また、松江市と出雲市の税収では約100億円の差があります。今後、公共事業も減る一方であり、新たな経済産業政策の一環として、裾野が広く、消費、雇用など、地域経済への即効性のある観光産業の振興が必要です。